

令和3年度

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

事業報告書

公益財団法人愛世会

《目 次》

1. 事 業 概 況	1～2頁
2. 愛 誠 病 院	3～13頁
3. 介護老人保健施設 シルバーピア加賀	14～17頁
4. 訪問看護ステーション	18頁
5. 地域包括支援センター	19～23頁
6. 居宅介護支援事業所	24～25頁
7. 愛 歯 技 工 専 門 学 校	26頁
8. 愛 歯 技 工 研 究 所	27頁

事業概況

令和3年度は、夏季の東京オリンピック、冬季の北京オリンピックという華やかな国際イベントが特例として連続して開催されました。これは新型コロナウイルスの感染拡大の影響で社会活動が大きく制限され、我々医療界も同様に大きな影響を受けることになった。現在も国内では、年明けから続くオミクロン株による第6波が、一時期よりは伸びが鈍ってきたものの、連日数万人単位の高い水準で新規感染者が発生しており、収束の兆しが見えていない。

新型コロナウイルス感染症への対応は、非常に神経を使い、重い負担を伴うものであることを我々もこの2月に痛感することとなった。愛誠病院の1フロアに於いてクラスターが発生したからです。当院としても感染拡大防止策を徹底しておりましたが、1人の新規入院患者様の陽性確認からわずか半月程度で62名中57名の陽性者が確認された。厚生労働省より支給された薬の投与により、幸いにも全ての患者様の容態を改善することが出来ました。これは、医師及び病棟職員が力を集中して不眠不休で対応してくれた結果であり大変感謝をしているところです。

当院でも2年連続で、この感染症による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により、3密を避けるため、集団を伴う健康診断の期間延長や人数制限を実施した。これにより、日帰り人間ドックを含め大幅に経費が増大することとなった。また、外来受診抑制も起こり、病院の精神科デイケアや老健施設の通所リハビリも制限をうけ、大きな収入減となった。

この様な大変厳しい状況の中で、令和3年度は愛世会として赤字脱却を柱とした経営改善と公益財団法人として感染症に対して少しでも国民の負担を減らす事業を進めてきた。経営改善としては、長年大きな赤字を計上してきた3部門の事業の撤退を実施した。

また、コロナ対策に寄与するため、板橋区と連携して保健所業務の補助を行い、新型コロナウイルスワクチン接種で個別接種と集団接種を行政と調整し実施することとした。

令和3年度、愛世会では新型コロナウイルスによるクラスターの発生はあったが、職員一同力を合わせてこの苦難を乗り切ることができました。また、赤字脱却を掲げ、この目的達成のため経費削減に努めたことで、損益の改善が見られた。今後はこれを加速し、収支相償を目標とし、持続可能な法人運営を目指すものである。

1. 公益事業の本体である診療部門は、新型コロナウイルスによるクラスターが発生し、他病棟への感染を抑えるため、新規患者の入院を停止し、他病棟でも入院後個室にて待機しながらの様子見などで病床利用率が下がってしまった。
公益事業のもう一方の検診事業も緊急事態宣言、まん延防止等重点措置でスケジュール調整等、経費が増大した。しかし、板橋区保健所との連携で、新型コロナワクチン集団接種の第1・2回目接種を1会場、3回目接種を3会場、各接種の院内個別接種を担当したことと、赤字事業体であった分院閉鎖の効果もあり、前年より収益を上げることができた。ただ、まだ経営改善は道半ばであり、受診数減少が止まらない日帰り人間ドック事業も昨年度末を持って休止の決定とした。その様な中でも、公益財団法人として、地域住民や勤労者に対し疾病の予防を実施してきた。今後も令和3年度同様に、新型コロナワクチンの個別接種や集団接種を行い公益目的事業として手助けを進めていく所存である。
2. 介護老人保健施設「シルバーピア加賀」についても2年連続の緊急事態宣言により、集団活動が一時期停止せざるを得なかった。通所リハビリセンターの収入減は大きく、また、入所者の確保も目標を下回り続けたことで開設以来初めての俊工時の補助金を除いた営業損益で赤字決算が見込まれることとなった。収益部門として今後、公益事業を支える為、事業展開を新型コロナウイルスの流行前の事業運営に戻せれば、活躍が出来るかと期待している。
3. 収益事業である愛歯技工専門学校(平成31年より休校)及び愛歯技工研究所については、昨年末で事業を撤退し閉鎖とした。

事業概況は以上のとおりですが、社会環境が大きく変貌した一年でした。経営改善を職員一丸となって実施した結果、損益の改善となり、平成24年度以来の黒字決算を迎えることができた。今後も、公益財団法人として社会に役立つ事業に取り組んでいく所存であります。

愛 誠 病 院

厳しい医療環境の中、患者サービスの向上を考え、あらゆるニーズに対応できる病院作りを第一に、安全な、そして安心できる医療環境を提供するため、次の事業を行った。

A. 診療部門

1. 公益財団法人病院として実施した事項

- (1) 生活保護者については、症状が重篤化して個室を使用する場合には室料差額の徴収を行わなかった。 室料差額減免額：¥402,600 円
- (2) 精神病棟において合併症治療のため入院相談が 125 件あり、そのうち入院した患者は、31 人であった。
- (3) 生活保護法による医療扶助患者数は次のとおりである。

	患者数
入院総数（延べ）	140,091 人
うち医扶患者	38,428 人
外来総数（延べ）	31,156 人
うち医扶患者	6,381 人
合 計（延べ）	171,247 人
うち医扶患者	44,809 人
比率（%）	26.17%

- (4) 入院及び外来患者数は次のとおりである。

	入院患者	退院患者	死亡者	入院患者延数	外来患者延数
年間患者数	212	217	109	14,091	31,156

- (5) 地域住民対象に行っている無料医療講演会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、全ての講演会を中止と致しました。
- (6) 就労支援の為の看護職場体験は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、受け入れを中止と致しました。

- (7) 勤労者に対しインフルエンザワクチンや B 型肝炎ワクチン、新型コロナワクチンをはじめ各種ワクチン接種を延 106,498 人に行った。
- (8) 精神科の外来患者に対して社会復帰支援のため精神科デイケアを延 6,061 人に、入院患者に対して精神科作業療法を延 26,016 人に行った。
- (9) 厚生労働省の 57 項目のストレスチェックを 5,746 人の方に行った。
また、人間ドックにおいて「ストレス検診」を 4 人の方に行った。
- (10) 各学校の実習生の受入については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策中ではあったが以下の通り受け入れました。

学校名	担当部署	期間	人数
聖徳大学	デイケア科	5月7日～18日	1名

- (11) 日本赤十字社 東京都赤十字血液センターの依頼で献血を愛誠病院駐車場
で令和 4 年 2 月 18 日 70 人の受付者に対して 64 人の献血を行った。

2. ドック・健診実績

(1) ドック・健診実績

	男性	女性	合計
日帰り人間ドック	1,220	606	1,826
生活習慣病予防健診	979	7564	1,735

(2) 愛誠病院全体で行った集団健診受診者数実績

①一次健康診断

定期健康 診 断	生活習慣病 予防健診	が ん 健 診			循環器
		胃	大 腸	肺	
72,201	10,251	13,537	16,960	1,311	32,389

児童生徒	特 殊	婦 人	住 民	ストレス チェック	採用時 健康診断	合 計
20,970	6,465	1,472	979	5,746	5,773	188,054

② 二次健康診断

定期健康 診 断	生活習慣病 予 防 健 診	胃 が ん (胃内視鏡)	大 腸 が ん (大腸内視鏡)	肺 が ん (胸部 CT)	合 計
1,173	293	2,168	11	19	3,664

3. 疾患予防事業の計画に対する報告書

疾病予防事業(集団検診)

(1) 事業年報の作成(令和2年度分)

令和2年度の健康診断実績を基に作成した。

(2) ウイズコロナ時代における「人にうつさない、自分がうつらない為の新しい健康診断の実施方法の確立

コロナ禍における健康診断実施方法の変化に対応するべく、健診8団体ガイドラインを基に、新しい健康診断の実施方法の確立を目指した。

- (3) 勤労者に対するメンタルヘルス事業のさらなる促進
ストレスチェックがウェブで対応できるようになり、実施の選択が広がったことにより、各事業所に対するPR活動を行い、受検者の増加に努めた。
- (4) 各事業所、勤労者へのワクチン接種の実施
風しん抗体検査とともに風しんワクチン接種の促進に努めた。また、インフルエンザワクチン接種の普及も努めた。
- (5) 健康診断業務の拡大
職域、地域、学校など、疾病予防および健康づくりに貢献し各事業所への聞取りを行い、困っていること、不満に思っていることの解決に努めた。
- (6) 健康診断結果報告書の迅速化、見やすく分かりやすい結果票の作成
次年度も引き続き継続事項とした。
- (7) 受診者の個人情報保護の為にセキュリティ強化、第三者認証の維持、継続
2016年度に取得した ISO27001 (ISMS 認証) の認証を再取得した。
- (8) 新型コロナワクチン接種の実施
職域および自治体に協力し、新型コロナワクチン接種を実施した。
住民 75,224 回 職域 19,953 回
- (9) 接遇など含めた職員の再教育
今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で思うように教育訓練ができなかった為、次年度へ継続事項とした。

B. 研修部門

1. 学会出席実績

月 日	学会名	職責	参加者
4月15日 ～18日	第75回日本放射線技術学会(Web)	科 長	田中 聡
4月15日 ～18日	第75回日本放射線技術学会(Web)		木下 秀記
4月15日 ～18日	第75回日本放射線技術学会(Web)		堀 孝太郎
4月15日 ～18日	第75回日本放射線技術学会(Web)		田邊 英里子
4月15日 ～18日	第75回日本放射線技術学会(Web)		香川 佳央了
4月15日 ～18日	第75回日本放射線技術学会(Web)	副 主 任	佐々木 加奈
4月15日 ～18日	第75回日本放射線技術学会(Web)		橋本 樹
9月9日 ～10日	第56回日本精神保健福祉士協会 学術集会	室 長	洗 成子
9月10日 ～11日	第23回日本褥瘡学会学術集会	科長代理	高岡 佳子
9月11日	第23回日本褥瘡学会学術集会	師 長	黒原 恵利子 他
9月11日	第62回日本人間ドック学会学術 大会(オンライン)	医 師	堀江 文俊
9月11日	第62回日本人間ドック学会学術 大会(オンライン)	医 師	矢吹 志保

2. 外部研修会出席実績

月日	研修会名	職責	参加者
4月22日	東洋医学研究会 漢方医学の基礎	科長代理	井上 旦子
5月21日	双極性障害の診断と治療を学ぶ		岩城 奈津子
6月7日	本当のハームリダクションの話をしよう		三谷 翠
6月14日 7月15日 3月7日 3月8日	東京都精神障害者地域移行事業 研修会		吉田 綾子
6月21日	食事介助基本の「き」	副看護部長	丸山 美佐子
7月1日	ナースの星・日清オイリオ WEBセミナー		藤井 薫
7月5日	東京都新人看護職員教育担当者 研修	副主任 看護師	日浦 陽子
7月8日	東京都新人看護職員教育担当者 研修	副主任 看護師	戸田 由美子
7月9日	板橋区保健所食品衛生講習会	主任	祝迫 繁樹
7月16日	東京都看護師等認知症対応力向上 研修 I	副主任 看護師	寺田 奈々枝
7月28日	心エコー検査の正しい進め方 オンライン配信	副主任 検査技師	神部 瑠美
7月31日	看護補助者のための研修	副主任 介護福祉士	大橋 正典
8月1日	認定精神保健福祉士更新研修	主任	田中 兆見
8月7日	令和3年度リスクマネージャー 交流会	副看護部長	廣瀬 久美子

月 日	研修会名	職責	参加者
8月13日	東京都新人看護職員研修責任者研修	主任看護師	三浦 貴裕
8月18日	基礎から学ぶ超音波工学研修 オンライン配信	副 主 任 検 査 技 師	神部 瑠美
9月6日	糖尿病性腎症を診るうえで知っておきたいこと	科 長	大山 広美
10月1日	ヤングケラーへの支援を考える	課 長 代 理	加藤 きゆき
10月5日	肺動脈性肺高血圧症の薬物療法	科 長 代 理	井上 旦子
10月5日	板橋区保健所栄養管理講習会 (第1回)	科 長	森田 ほづえ 他
10月7日	都臨技精度管理調査報告会 Web 配信	検 査 科 長	粕谷 勝尋
10月15日	東京都看護師等認知症対応力向上 研修 I	副 主 任 看 護 師	中村 喜江 他
10月15日 ～17日	日本放射線技術学会秋季大会 (Web)	副 主 任	佐々木 加奈
10月15日 ～17日	日本放射線技術学会秋季大会 (Web)		橋本 樹
10月19日	医療従事者がおさえるべき院内活性化の労務管理	副 師 長	武井 裕美
10月25日	東京都新人看護職員教育担当者 研修	主任看護師	吉川 亜矢 他
11月6日 ～7日	臨床実習指導者講習会	作業療法士	清水 浩孝
11月8日	東京都看護師等認知症対応力向上 研修 I	主任看護師	中根 美友紀
11月11日	安全運転管理者講習	次 長	石井 秀揮
11月13日	東京都看護師等認知症対応力向上 研修 I	主任看護師	中根 美友紀

月 日	研修会名	職責	参加者
11月21日	東京都精神科病院協会心理部門 研修会(オンライン)	科 長	齋藤 健太郎
12月26日	認定精神保健福祉士更新研修		芝田 孝栄
1月8日	日本老年看護学会認知症対応力 向上研修	主任看護師	新澤 峰子
1月9日	日本老年看護学会認知症対応力 向上研修	主任看護師	矢作 佳代
1月16日	認定精神保健福祉士更新研修	室 長	洗 成子
1月25日	成年後見人(クローバー)登録者 継続研修	主 任	田中 兆見
1月29日	第64回人間ドック健診情報管理 指導士ブラッシュアップ研修会	保 健 師	坂本 智子
2月1日	東京都がん検診(大腸がん)講習会	主 任	阿部 浩美
2月2日	安全運転管理者講習		小滝 立也
2月9日	マスクフィットテスト実施者養成研修		岡村 都己
2月27日	東京都精神科病院協会心理部門 研修会(オンライン)	科 長	齋藤 健太郎
3月1日	騒音障害防止のためのガイドライン 見直しについて	部 長	秋葉 和弘 他
3月7日 ~8日	東京都精神障害者地域移行促進事 業における地域移行関係職員に対 する研修	主 任	三浦 貴裕
3月10日	令和4年度診療報酬改定説明会 (日本病院会主催)WEB研修	課 長	泉澤 和哉
3月10日	令和4年度診療報酬改定説明会 (日本病院会主催)WEB研修	事 務 長	沖田 勝
3月18日	一社)東京精神科病院協会栄養 部門研修会	科 長	森田 ほづえ 他

3. 内部研修会実績

月 日	研修会名	職責	発表者
4月20日	(看護補助者研修)医療制度の概要及び病院の機能と組織の理解・守秘義務、個人情報保護	副看護部長	丸山 美佐子
7月15日	衛生講習会 (食中毒と感染症予防)	管 理 部 ス ー パ ー バ イ ザ ー	日清医療食品
6月15日	(看護補助者研修)医療安全と感染防止等・【基礎】シーツ交換	副看護部長	米塚 麻里子
6月20日	防災と災害時の対応①	施 設 課 長	渡辺 俊美
7月6日	心電図の取り方・血液検査について 研修会	副主任検査 技 師	神部 瑠美 他
7月13日	輸液・シリンジポンプの使い方 研修会	医 療 安 全 室 長	粕谷 勝尋
7月16日	接遇について	看 護 部 長	栗山 美樹
8月17日	(看護補助者研修)【基礎】寝衣交換・清拭・入浴について	副看護部長	廣瀬 久美子
9月2日	人格障害の操作性について	科 長	齋藤 健太郎
9月16日	モビコール配合内用剤LDについて	科 長	大山 広美
9月21日	(看護補助者研修)【応用】食事介助と口腔清拭について	副看護部長	廣瀬 久美子
9月30日	ISMS 教育訓練(1回目)		ゼクト
10月1日	ISMS 教育訓練(2回目)		ゼクト
10月14日	衛生講習会 (板橋区保健所食品衛生講習会報告)	主 任	祝迫 繁樹

月 日	研修会名	職責	発表者
10月18日	PPE・衛生的な手洗い研修会	医療安全室 室長	粕谷 勝尋
10月19日	(看護補助者研修)【応用】オムツ交換について	副看護部長	丸山 美佐子
10月19日	急変時の対応(AED)		フクダ電子株式会社
10月22日	防災と災害時の対応②	施設課長	渡辺 俊美
11月1日	放射線機器(電源装置)		堀 孝太郎
11月4日	実習指導者研修	副主任	中村 喜江
11月11日	衛生講習会 (嘔吐物の処理について①)	管理部 スーパーバイザー	日清医療食品
11月30日	フェントステープについて	薬剤部長	弓野 紅子
12月1日	検診車の機械的特徴		田邊 英里子
12月21日	(看護補助者研修)【応用】体位交換・移乗について	副看護部長	米塚 麻里子
1月6日	CVポートの管理について	副主任	末長 香織
1月13日	衛生講習会 (嘔吐物の処理について③)	管理部部長	日清医療食品
1月18日	(看護補助者研修)【応用】着脱・清拭について	副看護部長	廣瀬 久美子
1月31日	マンモグラフィの基礎		橋本 樹
2月24日	放射線業務におけるPC注意点		香川 佳央了
3月16日	(看護補助者研修)看護職と看護補助者による全体会議「看護者の業務軽減について」	副看護部長	廣瀬 久美子

C. 設備部門

(1) 老朽化等により、環境が悪化したので改修工事を次の通り実施した。

No	修繕内容
1	療養病棟・精神病棟 浴室改修工事
2	放射線科・作業棟・ 屋根補修工事
3	検診車 エアコン入替工事

(2) 病院の情報提供を推進するため、ホームページを適宜更新した。

D. 機器の整備部門

医療の質の向上と健診の充実を図るため、次の医療機器を購入した。

No	機器名	台数	設置部署
1	壁掛式吸引器	16 式	病棟
2	電動ベッド	19 台	病棟
3	ポータブルパルスオキシメーター	2 式	病棟
4	シャワーストレッチャー	1 台	病棟
5	薬品用保冷庫	1 台	外来
6	DICOMビューアー	3 式	外来
7	睡眠評価装置パルススリープ	1 台	集団検診部
8	検診車LCDモニター	2 式	集団検診部
9	検診車デジタル撮影機器	2 式	集団検診部
10	デジタル身長計	2 台	集団検診部

介護老人保健施設シルバーピア加賀

要介護者に対し、施設サービス計画に基づき、医学的管理の下での看護、介護、機能訓練、レクリエーション等在宅生活への復帰をめざした事業を行なった。

A. 事業部門

1. 施設状況

(1) 入所内訳

入 所 定 員	200 人
利 用 率	84.7%
入 所 者 延 数	61,780 人
1 日平均入所者数	169.3 人

退所先 主な内訳

在 宅	229 人
併 設 病 院	38 人
病 院	30 人
他介護施設	27 人
死 亡	35 人

通所内訳

通 所 定 員	60 人
利 用 率	74.2%
通 所 者 延 数	13,491 人
実 日 数	303 日
1 日平均通所者数	44.5 人

B. 受託部門

1. 職場体験学習実施実績

実施日	学習	受入れ先	受入れ数
なし	職場体験		0名

2. 実習生・ボランティア受入実績

受入れ先	受入れ実人数
なし	0人

C. 研修部門

1. 外部研修会出席実績

月 日	研修会名	職責	参加者
4月8日 ～5月31日	第121回日本外科学会 定期学術集会	施設長	白土 裕之
4月15日 他3日	第107回日本消化器病学会総会	施設長	白土 裕之
5月9日	医療的ケア教員講習会	看護部長	猪合 幸子 他
5月19日 他2日	第49回日本血管外科学会学術総会	施設長	白土 裕之
6月11日	第63回日本老年医学会学術集会	施設長	白土 裕之
7月7日 他2日	第76回日本消化器外科学会総会	施設長	白土 裕之
8月2日	老人保健施設管理医師 総合診療研究会補講	施設長	白土 裕之
8月7日	令和3年度第1回 東京都認知症サポート医等 フォローアップ研修	施設長	白土 裕之
9月6日	第41回日本静脈学会総会	施設長	白土 裕之

月 日	研修会名	職責	参加者
10月2日	令和3年度第2回 東京都認知症サポート医等 フォローアップ研修	施設長	白土 裕之
10月14日 他3日	第62回日本脈管学会総会	施設長	白土 裕之
10月29日 他2日	第59回日本医療・病院管理学会 学術総会	施設長	白土 裕之
11月4日 他3日	2021年度日本消化器関連学会 (JDDW2001)	施設長	白土 裕之
11月11日	安全運転管理者講習	事務長	堀部 真
11月24日 他2日	施設内リーダー職員研修 (看護実務者研修)	ケア部長	猪合 幸子
12月2日	R3年度介護サービス事業管理者等 高齢者権利擁護研修 高齢者虐待防止研修 (施設居住系サービス向け)	相談室	上田 直子
12月4日	令和3年度第3回 東京都認知症サポート医等 フォローアップ研修	施設長	白土 裕之

2. 内部研修会実績

月 日	研修名	講師	参加者数
6月9日	認知症について	保谷(介護)	資料配布 のみ
6月17日	嚥下について	太田(介護)	資料配布 のみ
7月30日	事故再発防止について スピーチロック・身体拘束を実施 する場合の手順	石川(介護科)	資料配布 のみ
8月31日	接遇について	施設サービス推進委員会	資料配布 のみ
10月15日	感染症の予防及び まん延防止について	感染対策委員会	41名

月 日	研修名	講師	参加者数
11月18日	記録について	研修育成委員会	18名
12月17日	AED講習	板垣(介護科)	15名
1月25日	就労者としての メンタルヘルス対策	田中(介護科)	38名

訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン

要介護者の居宅を訪問し療養上の世話や支援、診療の補助を行い、必要な看護サービス事業を行なった。

A. 事業部門

1. 事業状況

保険の別	訪問件数
医療保険	891 件
介護保険	1,890 件
1日平均訪問件数	12.1 人

B. 研修部門

1. 会議・研修会等出席実績

月 日	会議・研修会名	職責	参加者
5月11日	板橋区訪問看護ステーション会 所長会	所長	山下 昌代
7月13日	板橋区訪問看護ステーション会 所長会	所長	山下 昌代
9月7日	板橋区訪問看護ステーション会 所長会	所長	山下 昌代
11月9日	板橋区訪問看護ステーション会 所長会	所長	山下 昌代
12月8日	ACPとSDMの基本	所長	山下 昌代 他
12月16日	ACPとSDMの基本とグリーフの基本	所長	山下 昌代 他
12月23日	ACPの実践	所長	山下 昌代 他
3月7日	板橋区訪問看護ステーション会 所長会	所長	山下 昌代 他

地域包括支援センター

板橋区より運営委託を受け、地域の高齢者に対して状況を把握し、適切な情報を継続的に配信した支援事業を行なった。

A. 事業部門

1. 事業状況

内容	取扱い件数
相談延数	6,849 件
相談者数	591 人
見守りネット対象者	273 人
在宅訪問件数	1,789 件
認定調査委託数	39 件
介護予防事業管理件数	1,616 件
予防給付管理件数	1,120 件

B. 受託部門

1. 外部講演会等実績

月 日	研 修 会 名	職 責	参 加 者
4 月 7 日	「認知症ケアパス・見守り登録について」 なごみランチ倶楽部	センター長	齋藤 肇二 他
4 月 12 日	「消費者被害について注意喚起」 加賀ガーデンハイツ	センター長	齋藤 肇二 他
4 月 13 日	「高齢者虐待防止について」 みどりの会	センター長	齋藤 肇二 他
4 月 15 日	「令和3年度板橋区事業について」 板橋老人クラブ連合会	センター長	齋藤 肇二
4 月 23 日	「生活援助訪問サービス従事者研修」 シルバー人材センター	センター長	齋藤 肇二

月 日	研 修 会 名	職 責	参 加 者
5月13日	「認知症の早期発見・治療について」 板橋町会長会議	センター長	齋藤 肇二 他
6月24日	「おとしより相談センターとケアマネとの 連携について」 (新任ケアマネジャー向け研修)	センター長	齋藤 肇二
8月17日	「生活援助訪問サービス従業者研修」 シルバー人材センター	センター長	齋藤 肇二
9月30日	「認知症サポーター養成講座」 東板橋図書館	介護支援専門員	三澤 史哲 他
10月24日	「SDGsシンポジウム豊かな 相談体制とは」 SDGsいたばしネットワーク	センター長	齋藤 肇二
10月26日	「10の筋トレの会」活動補助 みどりの会	保健師	紀室 幸恵 他
11月5日	「介護予防に対する周知と活動支援」 スマイル14	センター長	齋藤 肇二 他
11月8日	「10の筋トレの会」活動補助 加賀ガーデンハイツ	介護支援専門員	三澤 史哲 他
11月15日	「10の筋トレの会」活動補助 加賀ガーデンハイツ	介護支援専門員	三澤 史哲 他
11月16日	「認知症サポーター養成講座」 都営住宅の居住者	センター長	齋藤 肇二 他
11月17日	「消費者被害防止と高齢者虐待防止」 なごみランチ倶楽部	センター長	齋藤 肇二 他
12月1日	「家族介護者教室」 板橋地域センター	センター長	齋藤 肇二 他
12月22日 23日	「認知症サポーター養成講座」 日本交通	センター長	齋藤 肇二 他
1月17日	「消費者被害防止と高齢者虐待防止」 ご近所さんの居場所	センター長	齋藤 肇二 他

C. 研修部門

1. 外部研修会等出席実績

月 日	研 修 会 名	職 責	参 加 者
4月14日	支え合い会議ソーシャルコーディネーター向け研修	センター長	齋藤 肇二
4月15日	介護保険改正のポイントと現場の対応	保健師	紀室 幸恵 他
6月15日	地域包括支援センター職員向け研修 「家族アセスメントと家族支援」	センター長	齋藤 肇二 他
6月28日	認知症地域支援推進員研修	センター長	齋藤 肇二
6月30日	介護予防支援及び介護予防ケアマネジネントの一部委託について	主任介護支援専門員	宮本 京子 他
7月2日	認知症初期集中支援チーム員研修	保健師	紀室 幸恵
7月13日 14日	認知症地域支援推進員研修 (新任者研修)	社会福祉士	板垣 友美
7月30日	東京都認知症地域対応力向上研修	センター長	齋藤 肇二 他
8月23日	終末期医療研修	センター長	齋藤 肇二 他
10月7日	高齢者間のDVを考える	介護支援専門員	三澤 史哲
10月19日	認知症フレンドリー研修	センター長	齋藤 肇二
10月21日 27日	介護事業者におけるBCP策定 セミナー	介護支援専門員	三澤 史哲
11月10日 12日	地域包括支援センター職員研修 現任者研修	介護支援専門員	三澤 史哲 他
11月7日	認知症初期集中支援チーム員研修	社会福祉士	板垣 友美
11月15日	東京都入退院時連携強化研修	保健師	紀室 幸恵
11月18日	在宅における終末期医療研修	介護支援専門員	三澤 史哲

月 日	研 修 会 名	職 責	参 加 者
11 月 22 日	BCP ワークショップ	センター長	齋藤 肇二
11 月 30 日	高齢者の口腔ケア	センター長	齋藤 肇二
12 月 7 日	担当者介護・ サービス調整のポイント研修	センター長	齋藤 肇二 他
12 月 7 日 10 日	東京都入退院時連携強化研修	保健師	紀室 幸恵
12 月 7 日	板橋区認知症サポーター キャラバンメイト養成研修	社会福祉士	板垣 友美
12 月 14 日	アドバイスケアプランニング(ACP)の 理解と実践	保健師	紀室 幸恵
12 月 15 日	介護予防ケアマネジメント研修	主任介護支援専門員	宮本 京子
12 月 16 日 17 日	介護支援事業所における業務 効率化と人材育成	保健師	紀室 幸恵 他
1 月 12 日	介護予防ケアマネジメント研修	介護支援専門員	三澤 史哲
2 月 14 日	認知症カフェセミナー	保健師	紀室 幸恵
3 月 15 日	認知症初期集中支援チーム員研修	保健師	紀室 幸恵
3 月 18 日	認知症アセスメントシート研修	社会福祉士	板垣 友美

2. 主任介護支援専門員向け交流会開催実績

月 日	内容	参加者数
4月22日	地域内ケアマネの実力向上と実務に役立つ勉強の機会について、及び顔の見える関係性の構築と連携について	17

3. 地域ケアマネ向け研修会開催実績

月 日	内容	参加者数
11月11日	事例検討会 「サービス導入を拒む独居男性への対応」 シルバーピア加賀 食堂	15

4. 小地域ケア会議開催実績

月 日	内容	参加者数
6月21日	「必要と思われる支援の導入が難しい多問題世帯への支援」	25

5. 相談協力員研修会開催実績

月 日	内容
8月26日	書面開催 「認知症の方も暮らしやすい地域づくり」

6. 地区ネットワーク会議開催実績

月 日	内 容	参加者数
1月19日	今年度実施の小地域ケア会議、事例検討会により抽出された地域課題について考える・活動報告	12

居宅介護支援事業所

在宅の要介護者等が、在宅サービスを適切に利用出来るようにサービス計画を作成し、居宅介護支援事業を行なった。

A. 事業部門

1. 事業状況

内容	件 数
介護保険給付管理	912 件
介護予防給付受託件数	48 件
認定調査委託件数	46 件

B. 研修部門

1. 介護支援専門員事例検討会開催実績

月 日	内容	参加 事業者	参加者数
7 月 9 日	第 21 回 本人の活動性を保ち、家族の介護負担軽減 を追い求めた事例について	12	17
11 月 12 日	第 22 回 不安定な住宅の事例について	14	15

2. 外部会議出席

	会議名	参加者
毎月 1 回	板橋区主任介護支援専門員協議会 幹事会	佐藤 浩之
6 月 21 日	地域ケア会議 ～必要と思われる支援の導入が難しい 多問題世帯への支援について～	木村 実

3. 外部研修会出席実績

月 日	研 会 名	参加者
8月23日	ケアマネ向け研修 在宅における終末期医療について	佐藤 浩之 木村 実
9月16日	主任ケアマネ研修会 コロナ禍における主任ケアマネジャーの アセスメント視点 ～リハビリ専門職の視点からのアドバイス～	佐藤 浩之
10月12日 11月15日	主任ケアマネ向け研修 「気づきのスーパービジョン実践研修」	木村 実
11月11日	包括主催事例検討会 ～サービス導入を拒む独居男性への対応～	木村 実
11月16日	ケアマネ向け研修 高齢者虐待防止スキルアップ研修 ～もし、あなたが虐待に気づいたら～	木村 実
12月14日	主任ケアマネ向け研修 「アドバンスプランニングの理解と実践 ～もしバナゲームで体験的に学ぶ～	佐藤 浩之
12月20日	主任ケアマネ向け研修 「気づきのスーパービジョンを 行うための事例検討」	木村 実
1月21日	ケアマネ向け研修 ～知っておきたいリハビリテーション栄養～	佐藤 浩之

愛 歯 技 工 専 門 学 校

本校は、大正 14 年(1925 年)歯科技工士という職業と共に誕生した。養成所開校から現在に至るまでの 96 年間で 2,145 名の歯科技工士を世に送り出してきた。しかし近年の 18 歳人口の減少等により入学希望者が減少し、平成 29 年 4 月から学生募集停止、平成 31 年 4 月には休校措置を実施し、令和 3 年 5 月 20 日板橋区に廃止許可、同年 6 月 30 日歯科技工士養成所としての指定を取り消して頂いた。

学校職員による研究発表、講演などは 6 月 30 日(学校廃校、指定取り消し)以降に実施したので研究所実績として掲載した。

愛 歯 技 工 研 究 所

「歯科医師や患者の要望に最後まで丁寧にお応えする」ため製品のチェック体制をより厳重に実施し再生率を引き下げた。また私共が伝統ある技工所であることを踏まえて臨床応用可能な基礎研究の成果を発表した。

A. 研究部門

1. 研究発表実績

月 日	学会名・テーマ	職責	発表者
8月21日	日本医用歯科機器学会 作業模型把持用の指具と有効性について 日本医用歯科機器学会・銀賞受賞	学校長	田中 誠

2. 講演実績

月 日	施設名	職責	発表者
11月11日	筑波大学附属聴覚特別支援学校 高等部専攻科 歯科技工科 歯科技工概論 「歯科医療の歴史と歯科技工」	学校長	田中 誠
11月18日	筑波大学附属聴覚特別支援学校 高等部専攻科 歯科技工科 歯科技工概論 「身体機能と歯科技工」	学校長	田中 誠
11月25日	筑波大学附属聴覚特別支援学校 高等部専攻科 歯科技工科 歯科技工概論 「歯科色彩学と歯科審美学」	学校長	田中 誠

3. 執筆実績(原稿提出 10月29日)

月 日	団体名・場所	職責	参加者
3月31日	日本医用歯科機器学会 作業模型把持用の指具と有効性について	学校長	田中 誠